



校長のつぶやき

福井市長橋小学校

R 3 . 1 0 . 2 7

「質問です。校長！本日の『海岸段丘マラソン大会』の様子はどうでした？」

天候にも恵まれ、無事大会を終えることができました。まず、児童全員が目標のゴールに向かって完走を果たすことができました。そして1等賞になったみなさんは、本当によく頑張りました。素晴らしい走りでした。おしくも2等賞だったみなさんも、とにかくみんながんばりました。また、ご多忙にもかかわらず、多くの保護者等の方々にご参観いただいたことに対し、感謝の気持ちでいっぱいです。ご自身のお子さんに対してだけでなく、どの子どもにも温かいご声援をいただきました。子どもたちが通過するたびに、農作業を中断し、温かい励ましの声をかけてくださる地域の方々までも。まさに、地域ですくすくと健やかに育っている、育てられている長橋小学校の子どもたちだと感じました。以下には、本日の子どもたちの頑張りを紹介させていただきます。



20名のみなさんは、本当によく頑張ってくれました。全員、完走することができてよかったです。嬉しかったです。「がんばってくれてありがとう」。。。

私は、開会式の話の中で、次のようなことを児童に伝えました

■順位よりも、自分のペースでゴールを目指すという『あきらめない心』、つまり、精神面を強調しました。「自分の体調をみて、歩くことがあってもよい！とにかく自分のペースでゴールを目指す」ことを繰り返しました。

低学年、中学年、高学年の部で全3レースが行われました。約1時間の間に、感動の場面がいくつもありました。そのうちのいくつかを紹介します。

☆呼吸を乱し、激しい咳が出て、続行不可能かなと思う児童がいました。私が救護車で駆け付け、車に乗せようとしたのですが、乗ろうとしません。「歩いてでも、自力でゴールしたい」という強い主張!!しばらくその場で呼吸が整うのを待ち、私と養護教諭が寄り添いながら、みごと自力でゴール。その間、神社前から、児童や保護者等、大勢の声が何度となく響き渡りました。

☆スピードが上がらず、身体的にかなり厳しい状態にあった児童がいました。私は、追走する自動車の中から「自分のペースで!」、「辛かったら歩けばよい!」という声かけをしました。しかしながら、歩き出してもすぐに走り始めるなど、決してあきらめようとはしませんでした。

☆農作業をされている方や地域のお年寄りからたくさんのご声援をいただくことができました。また、学校から依頼せずとも、地域の方が、教職員の監視ポイント間に立ち、子どもたちを見守ってくださいました。

マラソン大会開催の趣旨として、体力を鍛えること等があげられるのはもちろんのことです。しかし、私は、「心を鍛えること」に重きを置きたいと考えます。子どもたちが成長していく中で、苦しい時にすぐにあきらめてしまえば困ります。この先、マラソンとは直接関係のない勉強(学習)にも、仕事にも、そう簡単にあきらめない人に成長していくことを願います。今後、苦しいことがあっても、歯を食いしばり、前に進み続けることで、一つ一つ目標に近づくはずですが、今日のマラソンの一歩一歩がまさしくこのことではないでしょうか・・・。

長橋小学校のみなさん、いくつもの感動のシーンをありがとうございました。